

財政調整基金残高は61億円 ふるさと納税の効果は？

2月定例会議
2月22・23日

2月議会では主に新年度予算を審議します。1日目は市長施政方針と新年度予算以外の議案、2日目は平成29年度予算について提案がありました。
主な質疑を紹介します。

【2月22日（水）】

平成28年度一般会計補正予算
(第6号)

釘丸久子議員 財政調整基金の流れはどうか。基金残高は。

財務部長 27年度末で63億円だった。28年度に補正を活用し5億円、法人税還付で減。整理した中で、今回11億6千万円を繰り戻し、28年度末に61億円を確保した。

釘丸議員 ふるさと納税の返礼品の状況は。経費の割合は。

財務部長 厚木市では昨年10月14日から大きく変えた。12月補正で3千万円を増額したが、11・12月は見込みよりかなり増えている。今回9千万円増額した。

逆に、市へ入る税金が市外へ出る部分もある。現在、確定申告中であり、他市とデータのやりとりをするため5月にならないとはっきりしない。入りが増えるが出も増えるとの思いだ。経費は6割ぐらいかかるため、実収入は4割ぐらい。

【2月23日（木）】

平成29年度一般会計予算

釘丸議員 企業誘致条例で固定資産税の減免をしている。平成29年度ではどうか。

財務部長 29年度に適用解除されるのは4社で、800万円の税収となる。軽減は19社で1億3000万円である。

釘丸議員 企業誘致の実績について、市のホームページには27年度分までしか出ていない。28年度の実績は。29年度の予定は。

産業振興部長 28年度は2件申請があり、1社は決定、1社は審査会で妥当とされ手続き中。投資本額は13億9千万円。

28年度に予定していた企業3社が都合で遅れ、事前相談中が3社あるので、29年度は6社を予定している。

釘丸議員 雇用奨励金の適用は。正社員をいかに増やすかだ。非正規の対応をどうするかが課題だ。効果をどう考えるか。

産業振興部長 雇用奨励金は、28年度の認定企業が対象であり、3社24人。正社員に40万円、非正規に20万円と差をつけ、市として正規雇用を促しているが、雇用は企業の戦略である。

効果については、移動・新規も含め雇用が7000人増えている。

今週の活動から



東日本大震災から6年。福島原発事故の収束はいまだならず。故郷に帰れない被災者は全国に9万人も。昨年12月議会に出された「自主避難者への住宅支援打ち切りをしないで」の陳情が全員賛成で採択されました。2月26日開催の「さよなら原発パレード in あつぎ」に参加し、福島から避難していました。



さよなら原発パレードの日の夕方、アミューあつぎで生け花の展示会「一期一花」を鑑賞。写真は大中小の水盤に水辺と丘を

表した大作です。お茶とお菓子のおもてなしもあり、ほっと一息。その後は一般質問の準備に専念。緩急つけながらの活動の日々です。

(栗山香代子議員)

3月の法律相談

3月23日（木）1時半～
前日迄の連絡を！

2月議会 今後の予定

- 3月 7日（火）総務企画常任委員会（釘丸久子議員）
- 8日（水）市民福祉常任委員会（栗山香代子議員）
- 9日（木）環境教育常任委員会
- 10日（金）都市経済常任委員会
- 13日（月）常任委員会予備日
- 21日（木）議会運営委・本会議

9時間開会です。ぜひ傍聴においでください。

公民館プロジェクトチーム
有料化も視野に検討

公民館について、地域の住民が予約を取りにくいとの指摘がありました。

総務部長 公民館は地域の重要な拠点、他の施設とは別である。使い勝手が悪いとの声もある。

使用料は予算に見込んでいない。社会教育部長 公民館は地域の方から予約が取りづらいとの声を

受け、様々な配慮をしている。有料化も一つの方法と考える。現在庁内で、市民が利用しやすいように、有料化も含めてプロジェクトチームで検討を進めている。

このほか、新年度の組織改正での担当部長について、また、新しく国内友好都市の締結に向けた進捗状況などの質疑もありました。